

# 管理運営まるごとサポート

「誠実と努力を社是に、快適環境づくりに貢献」。(株)山形ビルサービス(YBS)が昨年創業60周年を迎えた。ビルの清掃から、ビルの管理・運営をまるごとサポートする総合メンテナンス企業に成長した。同社を訪問し後藤博代表取締役社長に、同社の歴史と抱負などをインタビューした。

YBSは本県のみならず東北のビルメンテナンス業の草分けです。

**後藤代表取締役社長** 当社は1957(昭和32)年1月10日、山形市初市の日に旅籠町のさいう美容室の空き部屋に事務所を構えて創業しました。創業者の與田博利は1932(昭和7)年、福岡県柳川市生まれ。苦勞を重ねながら業務拡大と事業多角化を進め、今日のYBSグループを育て上げました。

2017(平成29)年秋、與田は創業60周年に当たって感謝の意を込めて、次のように振り返っています。紹介します。

知らない土地(山形市)に来て、無一文

からビルサービスを創業して60年になります。1歳3カ月のときに農作業中の父が急死。兄弟5人の末っ子で母親1人の手で育てられました。母が年貢米を納めるリヤカーの後押しをして、地主さんからアメ玉をもらった記憶があります。東京で勉強したいと思いつつも経済的に余裕はなく、高校卒業後、長兄と地元の特産いぐさ製品の行商をしていました。鉱山会社に勤めていた次兄がまとまった金を用意してくれたおかげで上京し、中央大学経済学部に入學しました。大学3年のとき、「ビル代行」(現在業界最大手)で、入学以来親しくしていた中山町出身の友人と2年間アルバイトしました。故郷に帰ってビル清掃業を興すから手伝ってほしい、という友人の誘いに応じて(軽い気持ちで)山形市に足を踏み入れ、今日に至った次第です。

60年前の山形市は大きなビルもなく、借りたりヤカーに清掃器材一式を積んで、市内あちこちの商店舗の清掃をやりましたが、当時は自分の建物は自分で清掃するという時代で、なかなか理解してもらえま

せんでした。1日にコッペパン1つで2カ月間頑張ったものの好結果を得られず、5月末に「完敗」を認めて、大学の先輩でもある大沼デパートの事務長にお別れのあいさつに参上したところ、「いざれそういう時代が来るだろう。やってみよう」との大沼八右衛門社長の決断が出たと知らされました。

大沼さんとの清掃契約がスタートしてすぐに農協会館や、大沼社長の紹介で第一貨物本社と契約を頂くことができました。新築西通りにあった古着屋で背広を買って、料亭での顔合わせの席に臨んだことを今でも鮮明に覚えています。

私は寒河江市出身で、1986(昭和59)年に東京からUターンし入社しました。

ビルの清掃からスタートした当社ですが、現在は、「ビルを資産に育て上げる」を目標にグループ4社と連携、創業以来蓄積してきたノウハウを活かして、テナントとの折衝からコンサルティング業務まで、ビルのオーナーに代って管理・運営等多岐にわたって「まるごとサポート」しています。

多くの業界、ことに地方において人出不足が問題となっています。

**後藤代表取締役社長** 受注機会の損失や人件費上昇等影響が出ているようです。しかし、一方で製造業のみならず小売・サービス業まで、あらゆる産業でロボットの導入が進み、AI(人工知能)など技術革新が急速に進んでいきます。将来的には人出不足が解消され、逆に「働きたくとも、働く場所がない」という状況になる可能性もあるのでは、と個人的に考えています。

そうした人たちに働く場を提供する、雇用を確保できるのが私たちの業界です。ロボット化が進み、最新鋭のシステムを備えたビルも、保全には結局、人間の知恵と手が必要なのです。その上で、「地域の仕事は地域の企業に」ということを行政にはお願いしたい。適正な競争原理のもとで公平性を確保しつつも、地域にさまざまな面で貢献し、雇用を創出、納税している地の企業の受注機会の増大に努めてほしいということです。県内16社が加盟している山形県ビルメンテナンス協会の要望です。

大切な命や財産を預かる建物は、メンテナンスによって健康で快適な、活気あふれる空間となり、新たな街の価値を生み出します。将来にわたって責任を持って環境を維持管理しなければなりません。1人ひとりがプロフェッショナルとしての技術と経験を持ち、最上の知恵と手と技術の粋を提供できるように日々研鑽を重ねてまいります。



グループ各社と連携し、ビルの管理・運営をサポートする後藤博代表取締役社長(前列左から4人目)とスタッフ



## 裸一貫山形の地で創業

写真左は創業者の與田博利氏。創業間もないころ、旅籠町の事務所。山形への恩返しにと平成25年に5千万円を個人抛出し「與田教育財団」を設立、山形東など県内6高校に大学進学奨学金(返済不要)を給付している。写真右は苦勞を分かち合い社業発展に尽力した若き日の故近藤勝昭相談役

(株)山形ビルサービス  
 代表取締役 後藤 博  
 創業 1957(昭和32)年1月10日  
 払込資本金 9800万円  
 住所 山形市大字志戸田550番地  
 ☎023-644-0158(代表)  
 グループ社  
 山形警備保障(株)  
 (株)東北レンタル  
 (株)テトラス  
 (株)YBS保険サービス